

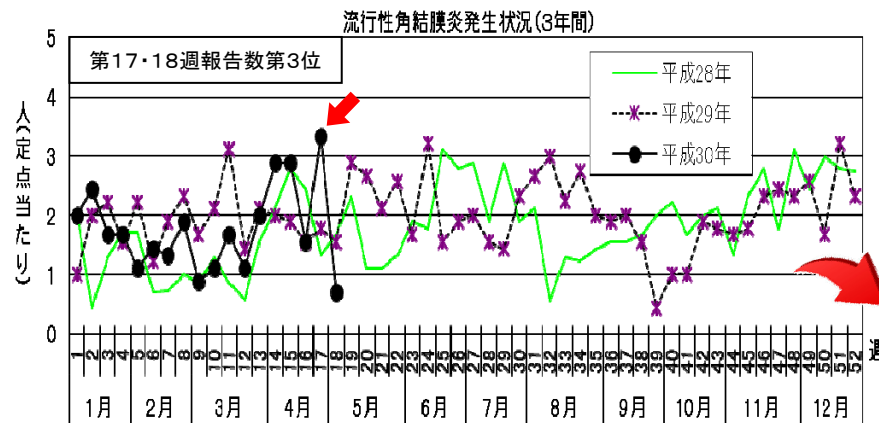
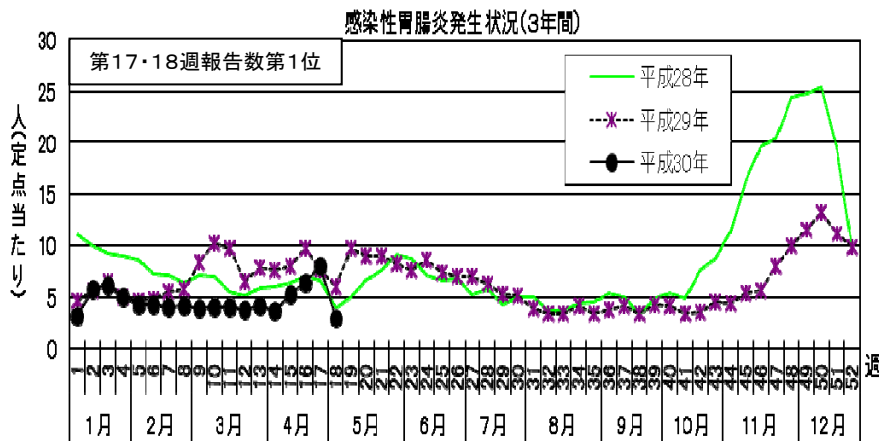
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年4月23日（月）～4月29日（日）〔第17週〕及び4月30日（月）～5月6日（日）〔第18週〕の感染症発生状況

第17・18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)流行性角結膜炎でした。
第17週は、感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数が7.92人と前週（6.35人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
第18週はゴールデンウィークで、多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。

★麻しんウイルス★
ハシカンくん



川崎市内で麻しん（はしか）の発生がありました！

市内において、今年初めて麻しん患者が確認されました。同患者は、4月に沖縄県で感染したと考えられます。

現在、沖縄県では台湾からの輸入例を発端とした麻しんの流行がみられており、沖縄県内にとどまらず他県にも感染が広がっています。

麻しん患者との接触の可能性があり、発熱、発疹などの症状がみられた場合は、必ず事前に電話連絡をしてから医療機関を受診しましょう。

麻しん（はしか）とは？

【感染経路】

空気感染、飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】

7～18日（最長21日程度）

【主な症状】

風邪様症状で始まり、38℃程度の発熱が2～3日続いた後やや下降し、再び39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。

【予防方法】

麻しん含有ワクチン（MR等）の接種

麻しんワクチン接種の実施状況(生年月日別)

| 生年月日 | 定期接種の実施状況 |
|------------------------------|------------------------|
| 昭和47年9月30日以前に生まれた方 | 定期接種は行われていません。 |
| 昭和47年10月1日から平成2年4月1日までに生まれた方 | 1回接種 (昭和53年10月から施行) |
| 平成2年4月2日以降に生まれた方 | 2回接種 (平成18年4月から施行) |

※全国的にも20～40歳代の報告が多いので、母子健康手帳等を確認し、2回接種していない場合は、麻しん含有ワクチン（MR等）の接種をお勧めします。

流行性角結膜炎の患者報告数が過去10年間で最多！

川崎市では流行性角結膜炎の患者報告数が著明に増加しています。平成30年第17週（平成30年4月23日～4月29日）の定点当たり患者報告数が3.33人となり、過去10年間で最多となりました。